

(様式2)

令和 4 年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1592500134		
法人名	一般社団法人 みらいず		
事業所名	グループホームはるか		
所在地	新潟県胎内市東本町22-31		
自己評価作成日	令和4年4月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	エム・エム・シー総合コンサルティング株式会社		
所在地	新潟県上越市富岡3446番地		
訪問調査日	令和4年5月27日		

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームはるかは、令和3年4月に開設した共生型福祉拠点施設まち・らぼの1階に6名のご利用者が生活されています。共生型グループホームとして同じ1階には障がい者10名と障がい者短期入所2名の方々と一緒に過ごされています。障害や認知症を患っても一人の人間として認めノーマライゼーションをもとに、「みんな違っていい」という法人のビジョンを意識しながら、個性を尊重した生活をしていただいています。また、業務中心にならずその人の生活リズムを重視して、ゆったりとしたホームでの生活環境を整え楽しく暮らしています。敷地内では近所の方が買い物などの近道として、自由に通っていただけるように説明しており身近な存在としてとらえ、いつでも目に触れるようにしています。1階の居住空間は和をモチーフにし、職員がここなら住みたいという意見を取り入れ設計段階から法人の思いが込められた作りになっています。2階は一転洋風の作りで、障害の基幹相談支援センターと地域交流スペースを備えています。地域交流スペースはご利用者の方々との交流の場として提供しますが、特に地域の方の居場所やサロンなども使用されており、週1回のフードバンクの利用場所としても使われておりご利用者との関りも多岐にわたっています。今後の福祉の拠点として「共に生きる」をベースに幅広い多機能化を進めており、新しい施設づくりを目指しています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

グループホームはるかは、新潟県初の認知症高齢者と障がい者の共生型グループホームです。共有スペースでは高齢者と障がい者が一緒に過ごしています。居住空間は和をモチーフにし、家具から壁紙まで設計段階から職員の意見が込められた作りになっています。2階の地域交流スペースでは、地域の方のサロンなども使用されており、週1回のフードバンクの利用場所としても使われています。町内の回覧板で広報誌を回覧し地域の方に事業所の活動の様子を知っていただいております。町内の清掃活動に参加したり、事業所の避難訓練には地域の方にご参加頂いております。ご利用者と一緒に梅干し作りや笹団子作りをしたり、畑でさつまいもを収穫するなどし、ご利用者に食事を楽しんで頂いております。行きつけの美容室を利用したり、季節に合わせたお花見やチューリップ見学に出かけたり、スーパーへの買い物支援も行っており、ご利用者が生き生きとした日常が送れるよう取り組んでいます。